

小中学校の教育環境の整備について

小中学校において、過密を避け、咳エチケットや消毒、手洗い、こまめな換気など、気を緩めることなく感染予防対策を徹底することが必要であり、係る経費を計上する。

(1) スクールバス通学の過密対策について

一部のスクールバスでは、児童生徒のバス乗車率が80%程度で過密となるため、スクールバスの大型化などによる過密防止対策により50%の乗車率を目指す。

また、運行前後の車内消毒や窓の常時一部開放による換気など、感染予防対策を徹底する。

①小中学校スクールバスの運行

○富田小学校 蕨生方面の児童19人（乗車率76%⇒42%）

| | | |
|----------------|---|--|
| 25人乗り蕨生バス【A】1台 | ⇒ | 冬季以外 45人乗り小山バス【B】1台 冬 季 45人乗り借上げ蕨生バス【C】1台 |
|----------------|---|--|

○開成中学校 小山方面の生徒最大42人（乗車率80%⇒50%） ※冬季のみ運行

| | | |
|----------------|---|--|
| 45人乗り小山バス【B】1台 | ⇒ | 45人乗り小山バス【B】1台 25人乗り蕨生バス【A】1台 合計2台に変更 |
|----------------|---|--|

②遠距離通学費補助

○富田小学校 勝原方面の児童4人

タクシー乗車率が100%のため、10人乗りジャンボタクシーに変更し乗車率を40%とする。ジャンボタクシーへの変更により、西勝原地区通学委員会への補助金を増額する。

【ジャンボタクシー】 タクシー1台 ⇒ ジャンボタクシー1台に変更

(2) 特別教室の空調機の設置について（小学校施設営繕事業・中学校施設営繕事業）

小中学校の再開後は、2ヵ月近くになる臨時休業期間の学習内容を確保するため、夏季休業期間を短縮し、猛暑日が続く7月末から8月上旬にかけて、授業を実施することが考えられる。

児童生徒の熱中症予防対策のため、特別教室の中でも使用頻度の高い、小学校は音楽室、中学校は理科室に空調機を設置するための経費を計上する。なお、他の特別教室についても、普通教室での授業実施や、夏季を避けて秋季への授業移行など、熱中症予防対策を検討する。

【設置する学校について】

- ・当初予算 小学校音楽室⇒有終東小・上庄小 中学校理科室⇒陽明中・開成中
 - ・今回補正予算 小学校音楽室⇒小山小・阪谷小 中学校理科室⇒尚徳中・和泉中
- （補正予算により小学校音楽室100% 中学校理科室100%達成予定）